

夢を^{かな}叶えた人の共通点は・・・

夏休みも終わり、学校生活が再開しました。皆さんは、夏休み中、どのような経験をし、何を感じ、どんなことが印象に残ったのでしょうか。

私は夏休み前半のパリオリンピックでの、日本選手たちの活躍が印象に残っています。中でも体操競技男子団体での劇的な大逆転金メダルが強く印象に残っています。鞍馬でミスが出て、我々素人は「もう金メダルは無理だろうな」と思ったのですが、キャプテンの萱選手(千葉市立幕張西中出身)は「絶対にあきらめるなよ!」と選手を鼓舞し続けていました。「絶対にあきらめない」という全員の思いを背中に受けて出番の選手たちが演技をつなぎ、首位中国の選手の、まさかの二度の鉄棒落下が起きて、大逆転での金メダル獲得となった時には「うおーっ!すごい!」と心の中で叫んでいました。

「金メダルを取りたい」「歌手になりたい」「俳優・声優になりたい」「医者になりたい」「お笑い芸人になりたい」といった夢をもち、実際にその夢を叶えた人たちの共通点はなんなのでしょうか。

夢を叶えた人の共通点は「最後まで夢をあきらめなかった人」であるということです。夢をあきらめなければ絶対に夢は叶うとは言えませんが、夢をあきらめてしまったら絶対に夢を叶えることはできません。「絶対にあきらめない」という思いの中に秘められた、とてつもないエネルギーが可視化された気がしました。

全力で競技する選手の姿に心を揺さぶられるとともに、競技後のインタビューでの言葉にも心を動かされました。共通していたのが「周りの支えのおかげ」「周囲の人への感謝」でした。

オリンピックの舞台に立てたのは、^{まぎ}紛れもなく、私たちには想像もつかないような肉体的・精神的に苦しい毎日を乗り越えてきた選手本人の努力によるものです。それなのに「感謝」の気持ちを口にする選手たち。苦しい毎日から逃げずに乗り越え、高みに達する過程で、自然と周囲の支えに感謝できるようになり、雑念から解放され心が穏やかになり、より強くなるのかもしれません。

私たちも、生まれた時からずっと誰かの支えによって生きているのだということを再度認識し、周囲への感謝の気持ちを自然と表せるようになりたいものです。